

「妙高市民の心」取組事例 年度別表彰一覧

年度	番号	団体名	活動等の概要（当時の内容）
H24	1	小嶋 信子	・平成17年から毎朝、子どもたちの登校時間にあわせて自宅付近のバス停で子どもたちとあいさつを交わしたり、見守りを行ったりしている。
	2	川上農地保全組合	・農用地等を活用した景観形成活動を毎年行っており、地域住民や子どもたちが一緒になって共用道路や路肩の草刈りや植栽を行っている。
	3	新潟みらい建設（株）上越営業所	・16年ほど前から地域の方から花の種を譲り受け、会社の入口の花壇で植栽を行っている。
H25	1	末広町町内会	・除雪、屋根雪の処理や草刈り、病院の送迎などの日常生活で困っていることを地域内でボランティア組織を発足し運営している。 ・日常生活の不安を解消するため、地域にやさしく地域に根差した活動を行い「人にやさしい末広町」を目指した活動に取り組んでいる。
	2	小泉 秀夫（推薦者：姫川原地区コミュニティ運営協議会）	・昭和41年から今年（H25）で48年間にわたり、姫川原保育園のクリスマス会に自前の衣裳でサンタクロースとして参加している。その際、自費でクリスマスプレゼント（お菓子等）を用意し園児に渡している。 ・近年は園児数も減少したが、一時は70～80名の園児全てにプレゼントを渡していた。
	3	（株）深松組上越営業所	・登下校の子どもたちへのあいさつ声掛け（朝礼を外で行っているため、その際に声掛けしている） ・市道除雪路線のゴミ拾い、会社周辺の除草
	4	花娘	・平成22年4月から介護施設で花を飾ったり、紙芝居、歌を歌う等の活動を行ったりして、入所者との交流を図っている。 ・できるだけ入所者の方の間にに入り込んで活動し、共に親しむ雰囲気を大切にしている。
H26	1	美守水辺公園を愛する会	・7・11水害後、有志を募り、ボランティアにより会を立ち上げ、現在（H26）26名で環境の整備などを行っている。 ・市と委託契約を取り交わし、主に歩道脇及び土手並びに水際の草刈り、乗用草刈機での平地の芝刈り、植栽の管理を行い年間で15回位延120人位で作業をしている。
	2	渋江町町内会	・小学校の夏休みの期間中に、子供達を中心とした夜回りを行っている。子供達の呼びかけによって町内近隣住民へ防火意識の向上を目指している。 ・消防署より子供会用拍子木10組、消防団より大人用拍子木2組を借用し、夏休みの期間中の毎週火曜日の夜に渋江町町内を一周している。 ・主な指導は、町内有志の会「元気にいっしょ会」が行い、町内会・消防団がサポートを行っている。
H27	1	白山町白寿会	・年3回行われる町内の街路樹周りの除草活動や神社境内の清掃活動を行う「地域貢献活動」に、毎回35～50人もの会員が参加し活動している。 ・長年にわたるこの「活動」が、「我々高齢者でも地域の役に立てるのだ」という自信になり、次の活動のエネルギーになっている。
	2	妙高市関山駅駅舎サロン&画廊愛好会	・関山駅の観光案内所廃止後に、地域住民が組織を立ち上げ、駅舎利用者や観光客との交流の場（サロン）を運営している。 ・サロンでは、地域住民が絵画や写真、絵手紙などの展示のほか、イベントを開催するなど、駅舎利用者や観光客だけのサロンでなく、地域住民の活躍の場（地域の絆が深まる場）となっている。
	3	川上 勇	・「わくわくランドあらい」「みなかみの里」「旧第一保育園」の花壇整備を長年にわたり実施しており、現在も継続中。 ・活動は、早朝から行われ、季節ごとに花を植えかえ、1年を通して様々な種類の美しい花々の景観で、子どもから大人まで、地域の皆さんの目を楽しませているほか、心の豊かさを与えている。
	4	松橋 仁司	・長年にわたり、自宅から近所の子どもたちと一緒に学校へ登校し、登校中の見守り活動と合わせ、校門前ではあいさつ運動を実施している。 ・この活動は、季節を問わず毎日実施しており、あいさつ運動の普及促進、子ども達の「あいさつ力」の向上に貢献している。

年度	番号	団体名	活動等の概要（当時の内容）
H28	1	赤倉オブジェ制作委員会	・赤倉区内を四季折々の花で飾り、「歩いて楽しい町」にするため活動中。 ・中央広場を中心に、それぞれの季節を楽しめるオブジェと花を飾っている。 ・赤倉に来訪する目的となるような、花を使ったイベントを行っている。
	2	本田北部町内会	・市からの広報等を町内へ配布する際に、一体感の創出を目指し、ひと手間かけ、親切・丁寧な対応を心がけている。 ・具体的には、回覧文書の鑑を作成し、全体に関係するものから取り上げて紹介している。
	3	姫川原あんちゃ会	・姫川原地域に住む20代～30代の若者たちが「若いもので、なんか面白いことやろっさ」と青年会的な組織として、平成25年に発足。 ・平成26年度末に姫川原小学校が閉校し、校庭の片隅で約20年にわたり児童らが丹精込めて作ってきた伝統の鳥坂ブドウを「あんちゃ会」が継承し、ブドウ作りを始めた。
	4	国立妙高青少年自然の家	・「さわやかあいさつ心の笑顔」をモットーに、全国から来所する13万人の子どもたちにあいさつ運動を行っている。 ・花壇の花と元気のいいあいさつで歓迎し、さわやかな妙高の風と風景とともに子供たちに「妙高市民の心」の大切な実践の1つである、あいさつの大切さをつとみや到着式等で発信している。
H29	1	(株)ダイセル新井工場	・「わくわくランドあらい」で開催されるイベントに参加し、家族で参加できる科学イベントの場を提供。 ・実験の「見学」だけでなく「体験」してもらうことで記憶に残してもらうよう工夫している。 ・企業としても地域貢献の場という認識をもって参加している。
	2	白山町町内会白寿会	・老人会活動を「人から施しを受ける」従来型から「地域に貢献する」活動型への転換を目指して活動中。 ・イベントの実施にあたって、得意分野の人がそれぞれの分野で活躍し、合わせて新たな人材も発掘している。 ・地域の仲間との交流を深め、孤独感の解消に寄与している。
	3	姫川原地区コミュニティ運営協議会	・昭和54年4月から地域の広報誌を発行し、通算145号を達成。 ・「郷土のことを知ってもらいたい」との思いから「ふるさと」と命名。 ・発行を重ね、認知度も進み、今では地区行事などの身近な情報源として地域に愛される広報誌となった。
	4	国立妙高青少年自然の家	・「思いやりのリレー（次の利用者のために施設の清掃や宿泊の際の布団の片付け、食堂での混雑緩和のためのゆずり合いなど）」を実施し、社会性・公共心を育成している。 ・主な利用者である子どもたちの優しい気持ちや思いやりの気持ちの醸成につながっている。
H30	1	水上商工振興会	・地域の子どもたちが通った吉木小学校の廃校前から活動を開始し、通学路である3つの橋の清掃活動を続けている。 ・2009年の活動開始から、10年を迎えた。
	2	鳥坂小唄保存会	・地域に古くから伝わる鳥坂小唄を後世に残そうと平成16年4月に保存会を設立。 ・伝承に向け地道な活動（地元だけでなく、市内各地の介護施設や敬老会などでの披露）を続ける。 ・地元の子どもたちにも伝承に向け、積極的に働きかけている。
R 1	1	エコクラブ妙高	・設立当初は環境保全に関わる講演会や先進地視察などを開催し、その後各種イベントでのエコキャンドルづくり、マイバックキャンペーン運動の実施、リユース食器やEM菌の普及によるごみの削減等に取り組んできました。 ・最近では環境美化活動としてクリーンパートナーに登録し、国道18号のごみ拾いや、関山神社火祭りにあわせた駅までの道路の草取りや清掃、関山交差点地下歩道の清掃を行うなど、幅広く活動しています。
R 2	1	ハッピーフラワーズ （本田北部町内会）	・地域の子ども会の親子と一緒に草取りや、花壇の整備を長年実施しています。 ・季節ごとの花を植え、1年を通して美しい花々の景観が地域の皆さんを楽しませているほか、地域の子ども達との親睦も図っています。
	2	特定非営利活動法人 妙高笹ヶ峰ファン倶楽部	・有志で笹ヶ峰遺跡の草刈りなどを、現在に至るまで毎年実施しています。 ・早稲田大学ワンダーホーゲル部OBや京都大学山岳部OBと共同での草刈りや、不法投棄防止キャンペーンへの協力など、いろいろな活動に関連付けて取り組みを進めています。

年度	番号	団体名	活動等の概要（当時の内容）
R 2	3	あいあう食堂	・新井南小学校区を対象に子ども食堂を運営しています。現在は新型コロナウイルス予防のため食堂は休止中ですが、休校期間にはお弁当配達も実施しました。 ・未就学児～最年長は80代の方まで参加する年代の幅広さも特色の一つで、サポーターとして様々な背景を持つ人が集まり、それぞれの視点を運営に活かしています。
	4	妙高市消防団 新井方面隊 第12分団	・地区の現状に対して、団内でできることを協議して、環境整備活動に取り組んでいます。 ・歩道橋のこけ取りや周辺の草刈り、枝切りなど住民の歩行の安全確保に取り組んでいるほか、大雨・台風で水路からあふれた砂や泥を除去し、交通観音前の景観や安全確保に取り組んでいます。 ・その他、姫川原コミュニティスポーツセンター体育館の清掃活動を実施しています。
R 3	1	水上商工振興会	・休耕田を利用した「牧草をラップしたロール（円筒 高さ1m、直径1m程度）」を活用し、側面に文字（挨拶や注意していただきたい事、今伝えたい事）をペイントする。 ・活動地域から事故や犯罪等を起こさない。また、地域の安全、住みやすい地域に成って欲しいと願って取り組んでいる。
	2	株式会社ダイナム 新井店	・2020年から継続して以下の活動に取り組んでいる。 ①ごみ拾いをしながらあいさつ運動 ②花を植えながらご近所、歩行者、お客様への声かけ ③妙高市社会福祉協議会への寄附を通して、一人暮らしの高齢者や困っているかたに手をさしのべる ④社会のルール遵守と社内での学習 ⑤ノー残業の実践と家族との時間重視 ⑥地域行事への社会貢献活動と家族での参加
R 4	1	ふれあい放課後児童クラブ（NPO法人 ゆめきやんぱす）	・放課後児童クラブでいつも遊んでいるふれあい会館周辺の落葉掃除を手伝ったことがきっかけで始めた、秋の「落葉はき」。 ・毎日続けることで公共の場がきれいになり、さまざまな人から感謝され、労働の本当の喜びを知ることができた。落葉はきが様々な学びにつながった。
	2	新潟県立新井高等学校 社会科クラブ	・市社会福祉協議会と連携して月1回、一人暮らし高齢者のお宅を訪問して学校の様子や健康の話題を載せた「妙高山新聞」を配りながら、交流を深め、見守り活動を実施。 ・高齢者が地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して暮らし続けていける地域づくりに貢献した。
	3	鳥坂城跡保存会	・姫川原地域の「鳥坂城跡」の整備や、市内外の小学校への総合学習支援の他、鳥坂城の魅力を全国へ発信している。 ・SNS等で鳥坂城跡に関する内容が発信されるなど、全国から城好きの人が訪れるようになってきた。
R 5	1	あのねcafé	妙高市内のママたちで結成されたママサークルの活動。地域全体で子どもを育てたいという理念のもと、子ども目線にたちながらさまざまな活動を考えて実行している。「地域全体で子育てがしたい」というあのねcaféの理念を大切に、「こどもまつり」や「雪遊び」などの大きな行事に力を入れている。
	2	株式会社上越無線 ヤマト運輸株式会社妙高営業所 株式会社ダイナム新井店	(株)上越無線、ヤマト運輸(株)妙高営業所、(株)ダイナム新井店は共に「妙高市民の心推進事業所」であり、R292号線沿線にある企業。企業個別に実施していた『ALL妙高』あいさつ運動×交通安全運動タイアップやクリーンアップ運動を3社合同で実施した。
	3	末広カフェ	末広町の食生活改善推進委員や健康づくり協議員など4名で「末広カフェ」をオープン。子どもから高齢者までが集う地域の居場所として、地域住民の憩いの場になっている。年間24回の活動では、季節の行事に合わせたイベントも実施している。
R 6	1	妙高高原中学校	4年前に生徒会の発案で始まった地域貢献活動。妙高高原公園線「やおとく食堂」～「セジュール妙高」間の草集め、植栽作業を春と秋の2回実施した。少しずつ活動の輪が広がり今年度は、生徒、保護者、地域の方、行政が連携して行うことができた。
	2	MYO高校部	高校生主体のまちづくり地域活性化活動。「妙高の良さを生かして自分たちでできること」をテーマに市の特産品を使ったクッキーの販売と市のPRキャラクターの作成のほか、地域の祭りの活性化のため、あらいまつりにも出店した。

年度	番号	団体名	活動等の概要（当時の内容）
R 6	3	原通自治会	市町村合併後に公民館活動を継続するため発足された。イベントを中心に「風の子フェスティバル」「風の子運動会」など地域活性化のため、さまざまな活動を行ってきた。安全で安心な暮らしを目指し、環境整備や美化活動を推進し、地域の絆を深めている。
	4	上町町内会	ラジオ体操、植栽、美化活動等、常に多世代が一体となった地域活動を実践・定着化している。地域づくり勉強会・座談会をきっかけに、近隣地域との連携の一環として、栄町と合同でさいの神を実施した。その他、郷土料理作りを行ったり、町内の連絡手段でLINEも活用している。
	5	妙高かるたの会	地域の魅力を後世に伝えるため、妙高のお宝をかるたにして学校や地域のかたに活用いただいた。学校や園、地域でかるた大会を開催するほか、かるたの検定会を通じ、郷土愛をはぐくむ一つのツールとなっている。毎年11月23日(祝)に関山神社社務所にてかるた大会を実施している。